

令和元年 小須戸地区 第35回 芸能祭開催

—写真で振り返る芸能祭—

天皇陛下即位パレードが行われた11月10日(日)に、第35回芸能祭が小須戸まちづくりセンターで開催されました。

今年も小須戸幼稚園園児のかわいらしい唄や踊り・手あそびから大正琴、三味線、ギター、ピアノ、コーラス、民謡、演歌、ダンスなど42の多彩な演目を披露し、訪れた観客を魅了しました。

出演された19団体の皆さんが、日頃の練習の成果を十分に発揮されたことから、会場は感動の渦に包まれました。



小須戸フラサークルオーキッド



民謡よつば会



小須戸幼稚園



小須戸音頭甚句保存会



小須戸大正琴愛好会



コールあじさい



三味線和楽



小須戸クラシックギタークラブ



サークルひまわり



もしもピアノの会



レク・あじさい



歌謡ほほえ美会



小須戸民謡愛好会



シャルウィダンスこすど



寿之会



生き生きクラブ



小須戸甚句子供会



フラサークルピカケ



寿美会



フィナーレ「小須戸甚句」

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

「にいがたことば」



社会福祉法人白蓮福祉会
ワークセンターほほえみ
五十嵐裕和さん

先日、まちづくりセンターで、小須戸マダムが知人と話し人「あれ、おめさん、なんでこんげとこにいるんで、こんげとこにいる」と。『こんげとこ』とはいかがなものか。心地よくおしゃべりをしていただけたのはこのセンターである。

それに、来たばかりなのに『来なくていい』とは。ふと思いついたのは、祖母の一言。散髪をした私に「まあ、いとしいになつたこと」と笑いながら。『にあつてるよ』と言われているのか、バカにされているのか。何気ない一言にイライラしたものだ。まあ、素直じゃない。

「おはよう。会えてうれしいわ。どうしてこちらに」となぜ言えない。なんとなくだが今ならわかる気がする。照れ隠しに言った言葉も「わかってくれるでしょ」と、相手への期待が込められていることを。にいがたのことばは難しい。まだまだ初心者だ。



小須戸・矢代田小学校で「子育て学習出前講座」が行われました



「子育てを『大変』だと思わずに、『貴重な体験』だと思えば、親子とも一緒に成長していく楽しさを感じていきましょう!」と呼び掛ける松葉先生

10月31日(木)に来年度矢代田小学校へ入学する新一年生を対象とした就学時健康診断が行われました。同時に進行で、保護者向けの「子育て学習出前講座」も行われました。

講師の松葉俊枝先生(新潟市芸術創造村・国際青少年センター) ゆいほーと館長)からは、「個性に合わせたいきいき子育て」というテーマで講演をしていただきました。

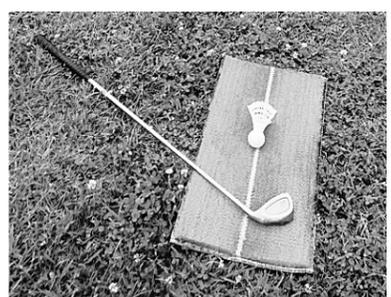
講演の冒頭では「親ってなんだろ?」と親業30年の成果と後悔より「というサブテーマで、実践に基づく子育てのノウハウを紹介されました。

まず、「他者との付き合いにおいて、親自身がトラブルに学ぶ姿勢をもつことで、失敗は失敗なりに受け止め、失敗の中にある『気づき』を通じて、子どもにトラブルの乗り越え方を教えることができる。」と、ご教示

小須戸雁巻緑地公園で「ターゲットバードゴルフ体験会」が行われました



8月号のこすど地区公民館報で募集をかけていた「ターゲットバードゴルフ体験会」が、9月・10月の毎週水曜日の午前中に小須戸雁巻緑地公園で行われました。



これは、小須戸武道館・体育館の指定管理者である「秋葉区スポーツフィールド運営グループ」の協力のもと、「小須戸地区スポーツ振興会」が主催し、体験を通じて「健康増進・介護予防・健康寿命の引き上げ」に繋がることを目的に実施しました。

